
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **IDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2011年第32週
(8月8日～8月14日)

- * 2011年8月17日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「日本脳炎ワクチン」も掲載しています。

平成23(2011)年8月18日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2011年32週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		29週	30週	31週	32週		32週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎					1		1
	結核	85	90	75	58	2,919	346	18,258
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
三類	コレラ				1	1	1	5
	細菌性赤痢	2	4	2	1	38	4	122
	腸管出血性大腸菌感染症	22	16	30	11	147	200	2,342
	腸チフス	1				3	1	14
	パラチフス	1				9	1	17
四類	E型肝炎				1	7		39
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					21	1	141
	エキノコックス症					1		12
	黄熱							
	オウム病			1		3		11
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							5
	つつが虫病					8	2	160
	デング熱				1	14	1	56
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1		56
	日本脳炎					1		2
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
マラリア			2	2	16	3	43	
野兔病								
ライム病			1		3		5	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽						1	1	
レジオネラ症	1	1	3	1	36	5	427	
レプトスピラ症					3	1	6	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		29週	30週	31週	32週	年累計	32週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	2	7	7	106	13	487
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)			1	1	27	1	159
	急性脳炎 *2	1		1	1	12	2	188
	クリプトスポリジウム症					2		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	11	2	75
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1			23	1	146
	後天性免疫不全症候群	8	8	9	3	245	8	868
	ジアルジア症					7		42
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		7
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	5	4	6	5	136	7	459
	破傷風			1		6		69
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		32
	風しん		1	1	1	25	4	285
	麻しん	1	1	1	1	158	7	391
2011/8/17集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 58件 肺結核 30件、その他の結核 27件、肺結核及びその他の結核 1件、年齢は10代 9件、20代 10件、30代 7件、40代 3件、50代 8件、60代 8件、70代 5件、80代 6件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 55件、中国 1件、国外不明 1件、国内及びシンガポール 1件であった。

〈三類感染症〉

コレラ 1件 患者、血清型・抗原型はO1エルトル小川、年齢は30代、推定感染地はフィリピン、推定感染経路は経口感染 1件であった。

細菌性赤痢 1件 患者、菌種はソンネ、年齢は30代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 11件 患者 8件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 6件、O145 VT2 1件、O157 VT2 1件、O157 VT(型不明) 2件、血清診断 1件、年齢は10代 4件、20代 2件、30代 1件、40代 2件、80代 2件、推定感染地は国内 11件(東京都 8件、不明 3件)、推定感染経路は経口感染 5件、接触感染 1件、経口及び接触感染 1件、その他(不明) 4件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 患者、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

デング熱 1件 患者、年齢は40代、推定感染地はマレーシアであった。

マラリア 2件 患者、年齢は30代 1件、50代 1件、病型はそれぞれ三日熱 1件、熱帯熱 1件、推定感染地はそれぞれインド 1件、ナイジェリア 1件であった。

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は塵埃感染 1件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 7件 腸管 5件、腸管外 1件、腸管及び腸管外 1件、年齢は30代 2件、40代 1件、50代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 7件、推定感染経路は性的接触 2件(異性間 1件、性別不明 1件)、経口感染 2件、その他(不明) 3件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(性別不明)であった。

急性脳炎 1件 病原体はヘルペスウイルス、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は50代であった。

後天性免疫不全症候群 3件 無症候キャリア 2件、その他 1件、年齢は20代 2件、40代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 2件、不明 1件であった。

梅毒 5件 無症候梅毒 2件、早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 2件、推定感染地は国内 4件、韓国 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 3件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

風しん 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、風しん含有ワクチン接種歴は接種なしであった。

麻しん 1件 検査診断例、年齢は30代、推定感染地は国内、麻しん含有ワクチン接種歴は接種なしであった。

第28週で報告のあった、五類 麻しん 1件は削除された。

定点把握対象疾患 報告数 2011年32週

定点種別	対象疾患	2011年					報告医療機関数	定点医療機関数
		29週	30週	31週	32週	定点あたり		
小児科	RSウイルス感染症	46	62	84	61	0.26	232	264
	咽頭結膜熱	212	182	120	89	0.38		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	302	303	199	125	0.54		
	感染性胃腸炎	822	928	765	550	2.37		
	水痘	155	161	130	95	0.41		
	手足口病	2,497	2,878	2,846	1,836	7.91		
	伝染性紅斑	94	131	136	86	0.37		
	突発性発しん	208	189	201	142	0.61		
	百日咳	7	6	11	8	0.03		
	ヘルパンギーナ	1,796	2,104	1,772	1,171	5.05		
	流行性耳下腺炎	115	94	115	74	0.32		
	川崎病(注1)	5	4	4	1	0.004		
	不明発しん症(注1)	82	90	60	29	0.13		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	3	3	7	6	0.02	359	419
眼科	急性出血性結膜炎	1		1	1	0.03	32	39
	流行性角結膜炎	23	14	24	20	0.63		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	2	1		1	0.05	21	25
	無菌性髄膜炎		5	1				
	マイコプラズマ肺炎	14	22	15	19	0.90		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
2011/8/17集計								

(注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・手足口病の定点あたりの報告数は減少したが、27週から引き続き流行警報基準を超えている。
- ・ヘルパンギーナの定点あたりの報告数は減少したが、28週から引き続き流行警報基準を超えている。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点あたりの報告数は増加し、過去5年平均と比較して高い値で推移している。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

台東区

- ・インフルエンザ:外国(インド)の方です。

大田区

- ・肺炎が多い。

世田谷区

- ・RSウイルス感染症:陽性例は呼吸障害増悪し、入院加療となりました。
- ・RSウイルス感染症:八幡山近辺で小流行あり。
- ・マイコプラズマ肺炎 1名。

荒川区

- ・感染性胃腸炎:カンピロバクター属菌陽性 3名、病原性大腸菌O1 1名。

板橋区

- ・感染性胃腸炎:感染性大腸菌O114 1名。
- ・感染性胃腸炎:感染性大腸菌O25、O55 各1名。

八王子市

- ・アデノウイルス感染症 2名。
- ・アデノウイルス感染症 1名。

多摩府中

- ・エルシニア・エンテロコリチカ(3+)による細菌性腸炎 1名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2011年32週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	5	1	1	17	1	27		4	1	15
～11か月	19	5	1	62	9	219	4	47		117
1歳	23	22	5	84	12	564	6	77	1	282
2歳	8	13	7	58	13	355	5	11		217
3歳	3	16	11	48	18	242	12	3		192
4歳	2	9	27	46	18	155	15			114
5歳	1	4	13	35	12	112	11			96
6歳		5	21	26	5	51	6			55
7歳		5	9	25	2	28	7			29
8歳		2	9	12	2	19	4			12
9歳			6	22	2	14	3		2	12
10～14歳		5	5	44	1	16	7		1	18
15～19歳			2	13		4	1			2
20～29歳		2	8	58		30	5		3	10
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	61	89	125	550	95	1836	86	142	8	1171
先週比	-23	-31	-74	-215	-35	-1010	-50	-59	-3	-601

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月			3			1
～11か月			3			
1歳	3		10			1
2歳	7		4			1
3歳	8		2			
4歳	10		5			
5歳	17	1		1		
6歳	8		1			
7歳	8		1			
8歳	7					1
9歳						
10～14歳	5					
15～19歳						
20～29歳	1					1
30～39歳				3	1	7
40～49歳				2		5
50～59歳						1
60～69歳						1
70～79歳						1
80歳以上						
合計	74	1	29	6	1	20
先週比	-41	-3	-31	-1		-4

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2011年32週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳	1	
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2011年32週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田						10	1			4
中央区					1	21		2		16
みなと	12	3	1	17	3	43		6		10
新宿区	9	1	4	7	11	31	2	2		22
文京				4	3	31	2	4		25
台東		1		17		19	3			20
墨田区	2	3		4	1	27	2	2	1	27
江東区	3		8	36	3	69		5		55
品川区	1	4	3	20	1	60	1	6		24
目黒区		2	1	4		10	1	3		3
大田区	7		3	27	7	71	4	6		28
世田谷	6	3	8	24	9	117	7	9		112
渋谷区		1		4		27				7
中野区			10	17	1	50		2		39
杉並	1			16	3	46	2	2		15
池袋			1	8		8				10
北区				5	3	11	1	3		18
荒川区	5	1	4	11	2	30	2	3	1	26
板橋区	1		1	10	2	6	1	3		8
練馬区		4	5	18	2	65	4	8	1	71
足立			13	40	6	41	3	6		74
葛飾区			9	13	4	24	4			59
江戸川	5	19	10	57	3	69	1	9		99
八王子市	2	8	9	54	5	149	6	14		34
町田市	2	4	6	30	6	65	9	4	1	79
西多摩		3		8	4	73	5	2		32
南多摩		5	2	15	6	131	8	7		43
多摩立川		2	2	15	2	94	4	7	1	23
多摩府中	1	19	13	22	6	244	10	12	2	60
多摩小平	4	6	12	47	1	169	3	15	1	127
島しょ						25				1
東京都合計	61	89	125	550	95	1,836	86	142	8	1,171

全数把握対象疾患
(風しん、麻疹)報告数

【保健所別】 2011年32週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	2					
みなと	4					
新宿区						1
文京	1					2
台東	2			4		
墨田区			1			
江東区	7		1			1
品川区	3				1	
目黒区						1
大田区	2		2			1
世田谷	1		2	1		1
渋谷区	2					
中野区	2					
杉並	1					5
池袋	1					1
北区	1		2			
荒川区	1		1			
板橋区	4		2			
練馬区	8					
足立	1					2
葛飾区	2		2			
江戸川	2					3
八王子市	10		6			
町田市			1			
西多摩			1			1
南多摩	7					
多摩立川			1	1		1
多摩府中	4		7			
多摩小平	6	1				
島しょ						

東京都合計	74	1	29	6	1	20
-------	----	---	----	---	---	----

	風しん	麻疹
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区	1	
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		1
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
町田市		
西多摩		
南多摩		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	1
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2011年32週

定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田						5.00	0.50			2.00
中央区					0.50	10.50		1.00		8.00
みなと	2.40	0.60	0.20	3.40	0.60	8.60		1.20		2.00
新宿区	1.29	0.14	0.57	1.00	1.57	4.43	0.29	0.29		3.14
文京				1.00	0.75	7.75	0.50	1.00		6.25
台東		0.25		4.25		4.75	0.75			5.00
墨田区	0.40	0.60		0.80	0.20	5.40	0.40	0.40	0.20	5.40
江東区	0.33		0.89	4.00	0.33	7.67		0.56		6.11
品川区	0.14	0.57	0.43	2.86	0.14	8.57	0.14	0.86		3.43
目黒区		0.40	0.20	0.80		2.00	0.20	0.60		0.60
大田区	0.88		0.38	3.38	0.88	8.88	0.50	0.75		3.50
世田谷	0.40	0.20	0.53	1.60	0.60	7.80	0.47	0.60		7.47
渋谷区		0.25		1.00		6.75				1.75
中野区			1.67	2.83	0.17	8.33		0.33		6.50
杉並	0.11			1.78	0.33	5.11	0.22	0.22		1.67
池袋			0.33	2.67		2.67				3.33
北区				1.25	0.75	2.75	0.25	0.75		4.50
荒川区	1.25	0.25	1.00	2.75	0.50	7.50	0.50	0.75	0.25	6.50
板橋区	0.13		0.13	1.25	0.25	0.75	0.13	0.38		1.00
練馬区		0.31	0.38	1.38	0.15	5.00	0.31	0.62	0.08	5.46
足立			1.18	3.64	0.55	3.73	0.27	0.55		6.73
葛飾区			1.80	2.60	0.80	4.80	0.80			11.80
江戸川	0.45	1.73	0.91	5.18	0.27	6.27	0.09	0.82		9.00
八王子市	0.20	0.80	0.90	5.40	0.50	14.90	0.60	1.40		3.40
町田市	0.29	0.57	0.86	4.29	0.86	9.29	1.29	0.57	0.14	11.29
西多摩		0.38		1.00	0.50	9.13	0.63	0.25		4.00
南多摩		0.56	0.22	1.67	0.67	14.56	0.89	0.78		4.78
多摩立川		0.15	0.15	1.15	0.15	7.23	0.31	0.54	0.08	1.77
多摩府中	0.06	1.06	0.72	1.22	0.33	13.56	0.56	0.67	0.11	3.33
多摩小平	0.27	0.40	0.80	3.13	0.07	11.27	0.20	1.00	0.07	8.47
島しょ						25.00				1.00

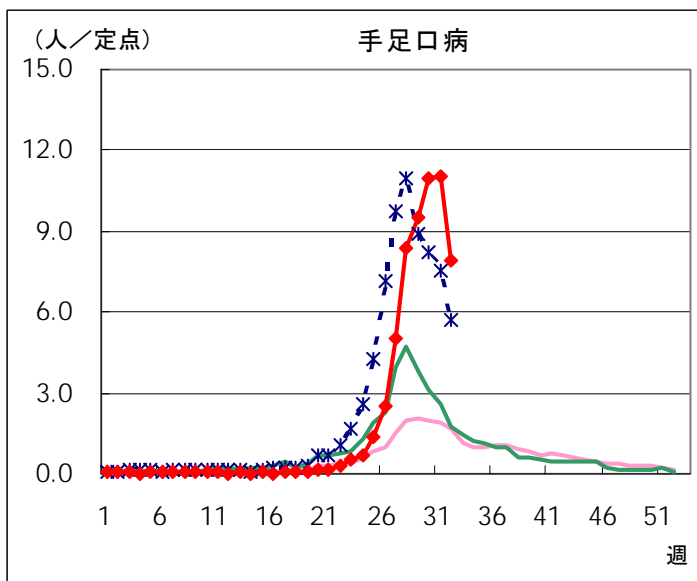
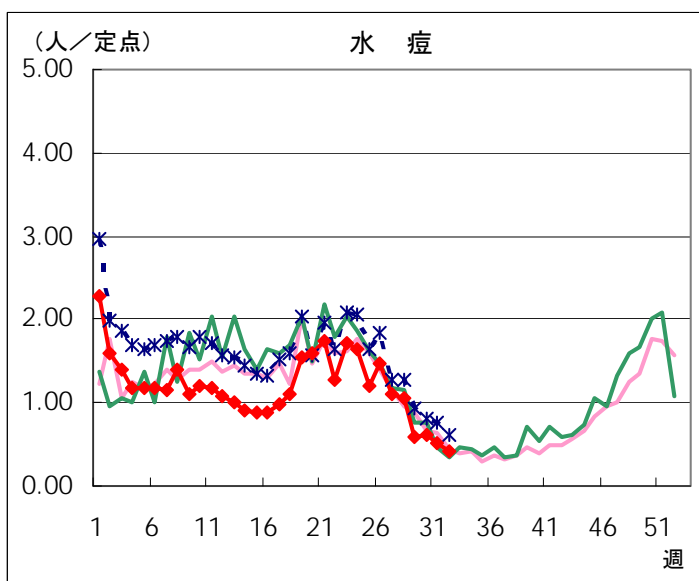
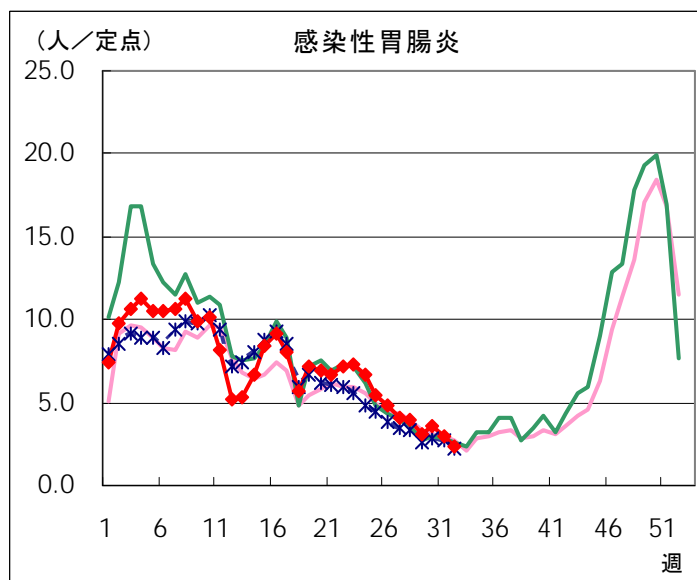
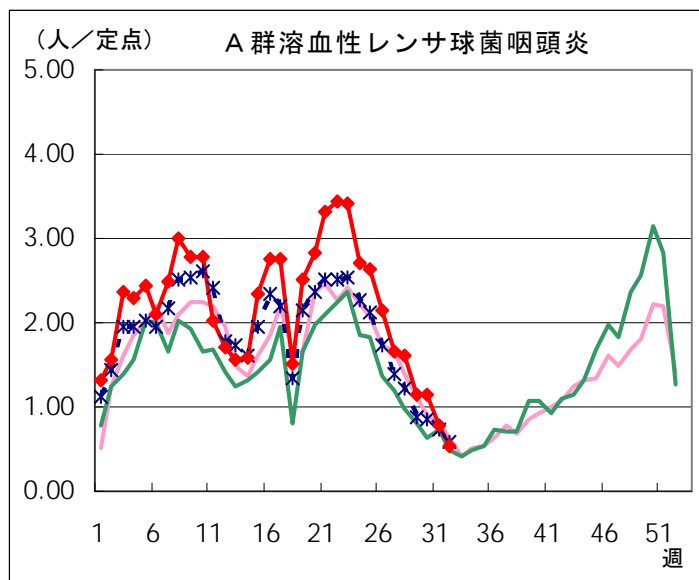
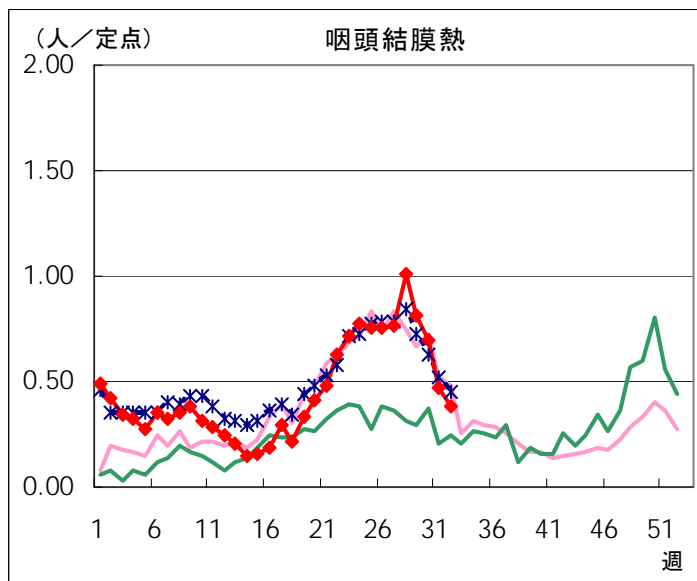
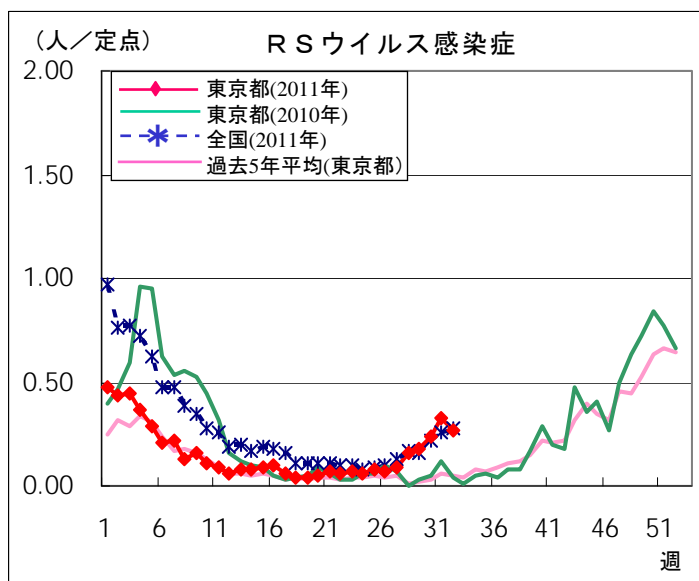
東京都	0.26	0.38	0.54	2.37	0.41	7.91	0.37	0.61	0.03	5.05
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

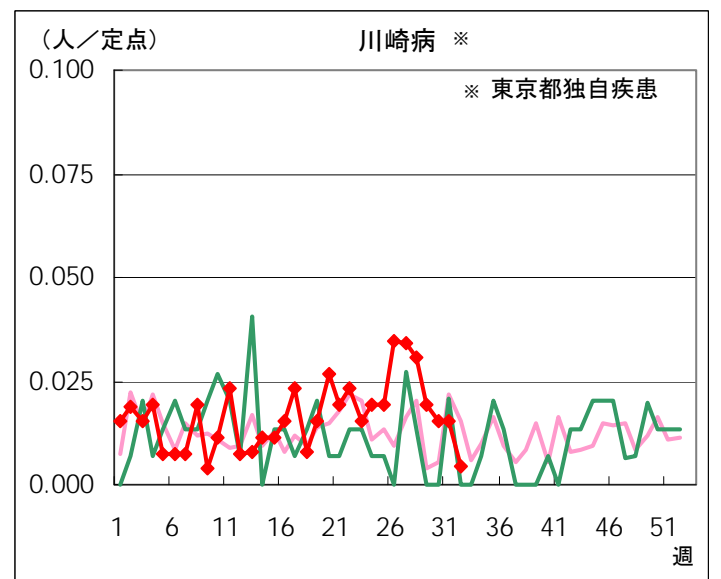
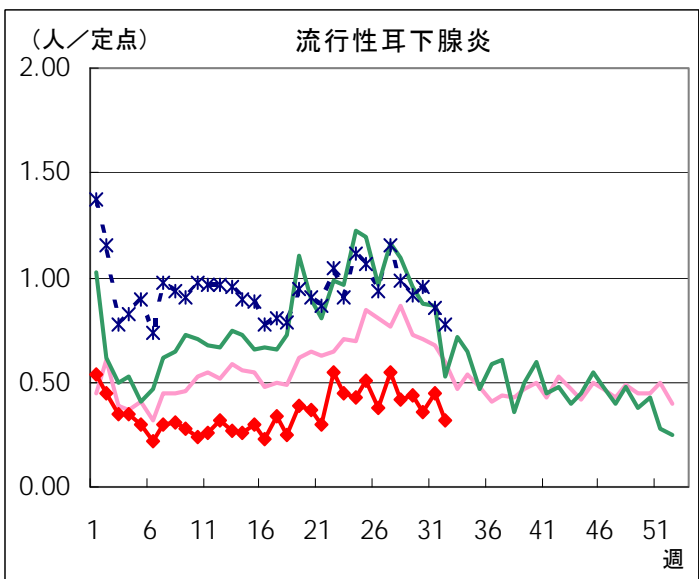
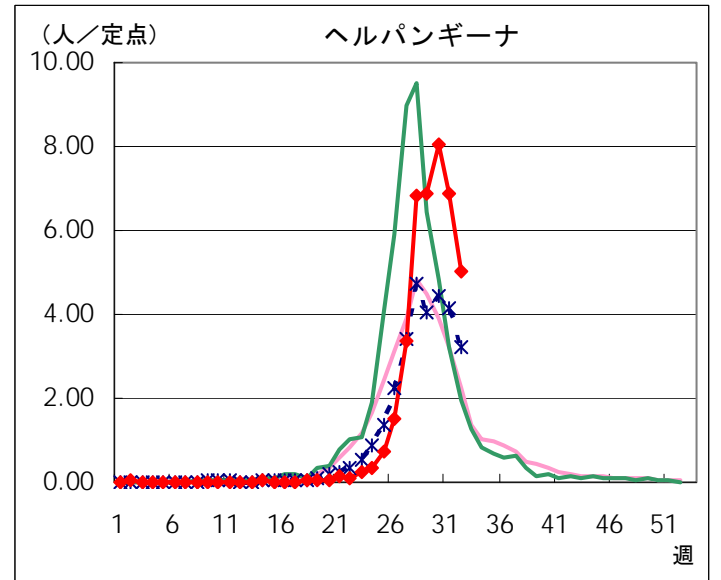
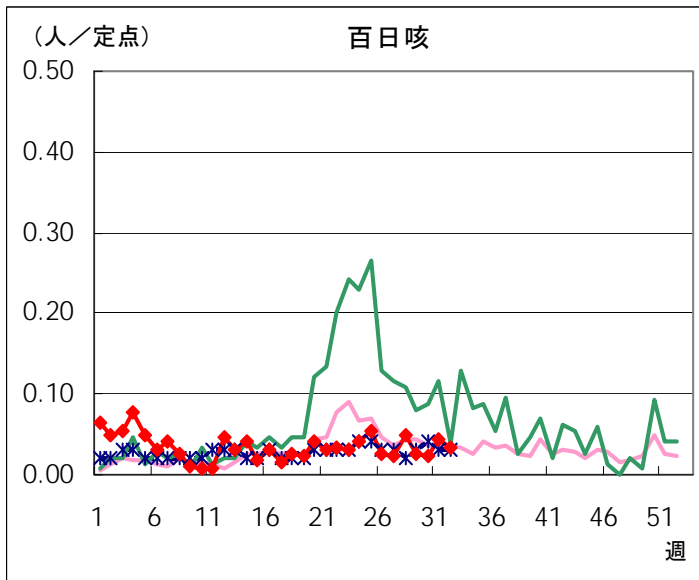
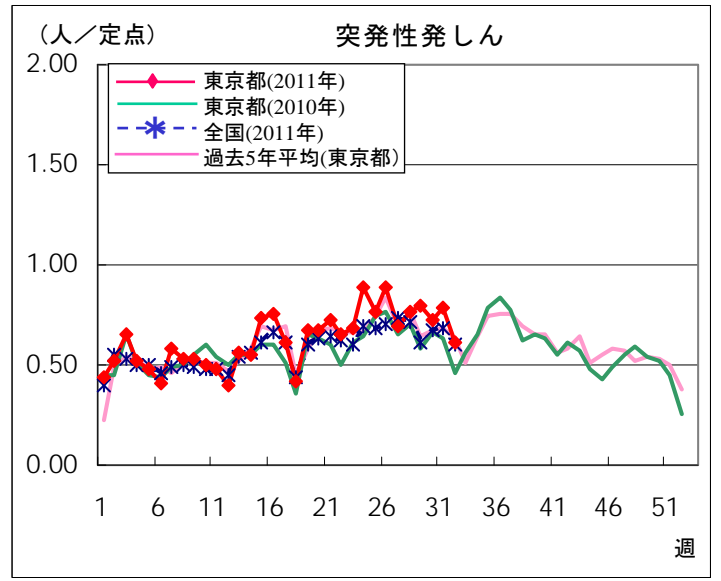
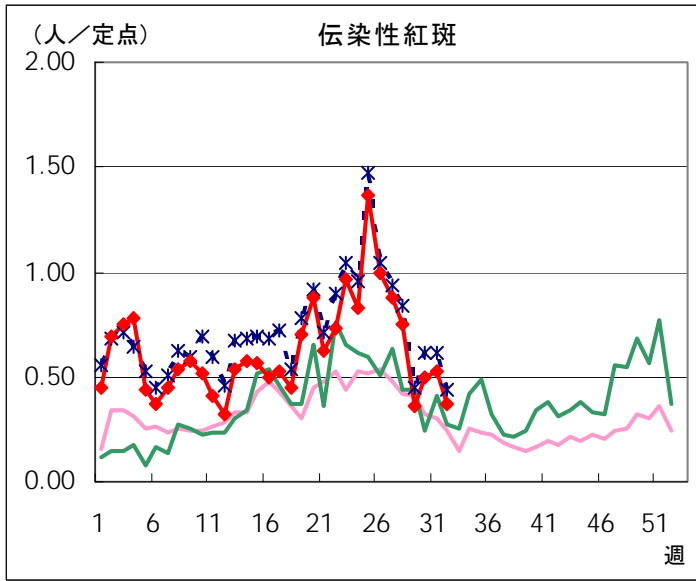
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田						
中央区	1.00					
みなと	0.80					
新宿区						1.00
文京	0.25					2.00
台東	0.50			0.57		
墨田区			0.20			
江東区	0.78		0.11			1.00
品川区	0.43				1.00	
目黒区						1.00
大田区	0.25		0.25			1.00
世田谷	0.07		0.13	0.04		1.00
渋谷区	0.50					
中野区	0.33					
杉並	0.11					5.00
池袋	0.33					1.00
北区	0.25		0.50			
荒川区	0.25		0.25			
板橋区	0.50		0.25			
練馬区	0.62					
足立	0.09					1.00
葛飾区	0.40		0.40			
江戸川	0.18					3.00
八王子市	1.00		0.60			
町田市			0.14			
西多摩			0.13			1.00
南多摩	0.78					
多摩立川			0.08	0.05		0.50
多摩府中	0.22		0.39			
多摩小平	0.40	0.07				
島しょ						

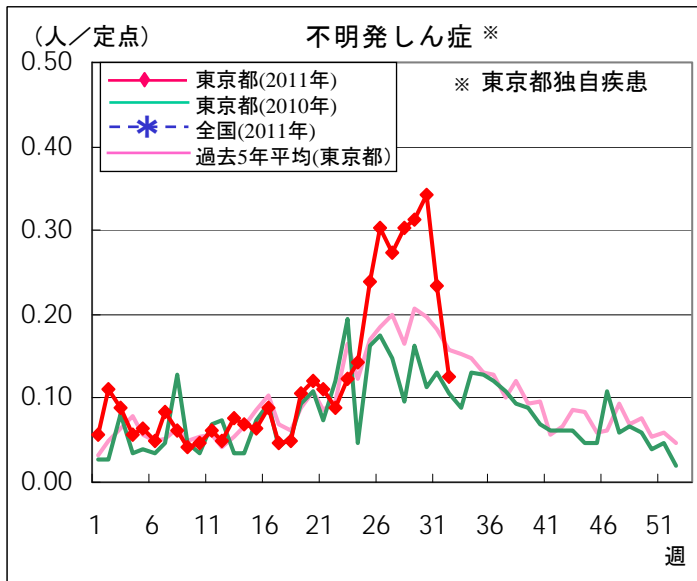
東京都	0.32	0.004	0.13	0.02	0.03	0.63
-----	------	-------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2011年32週現在

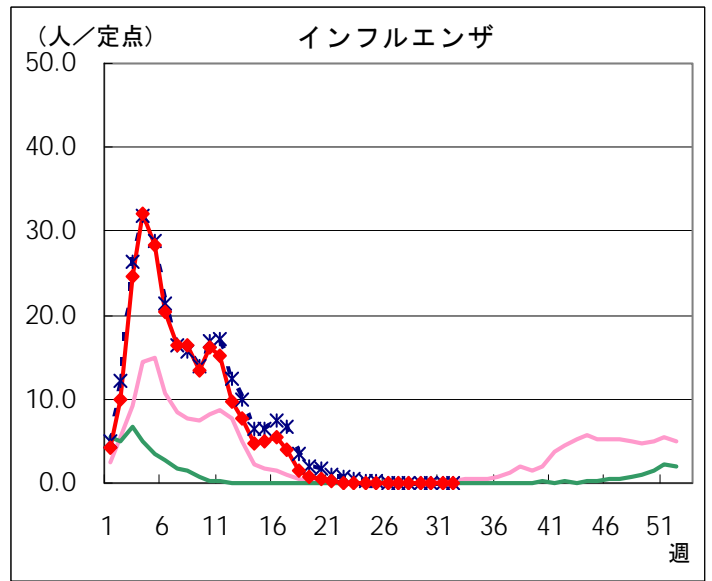
◆ 小児科定点



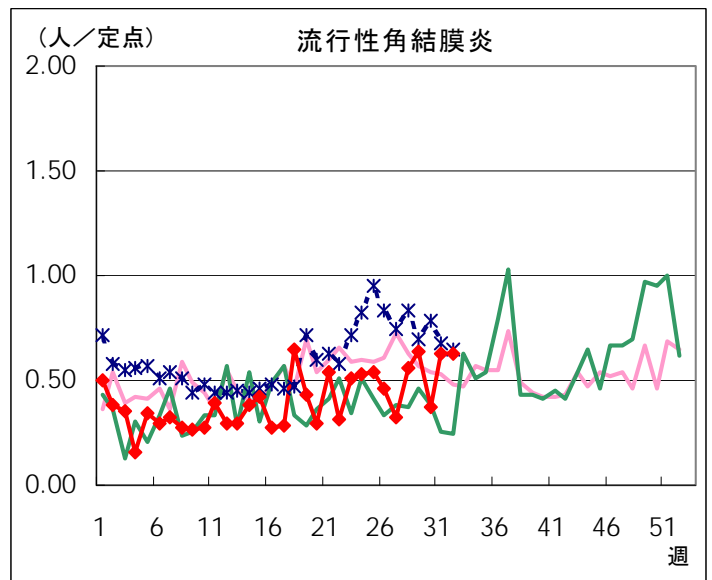
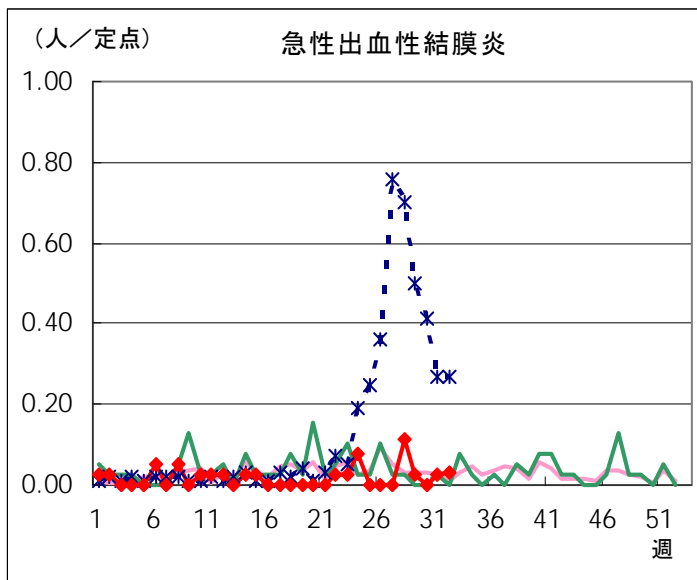




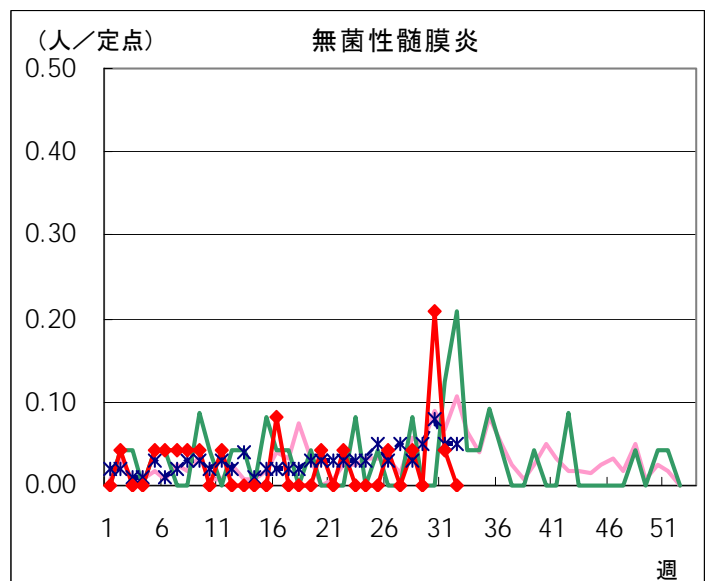
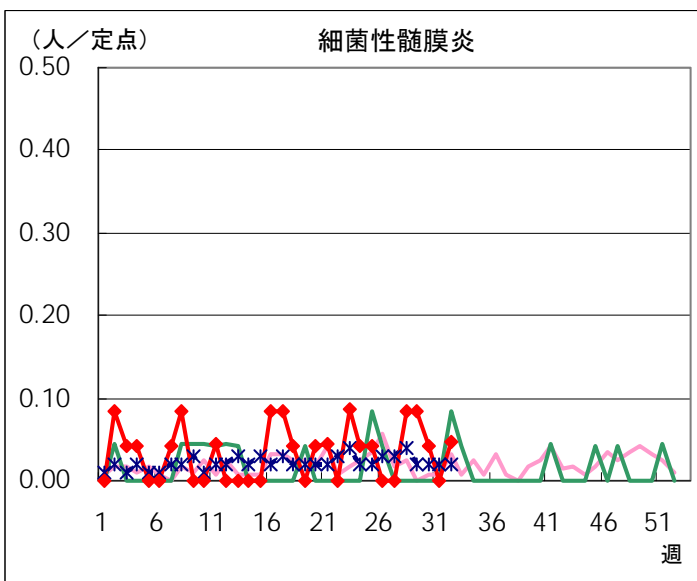
◆ インフルエンザ定点

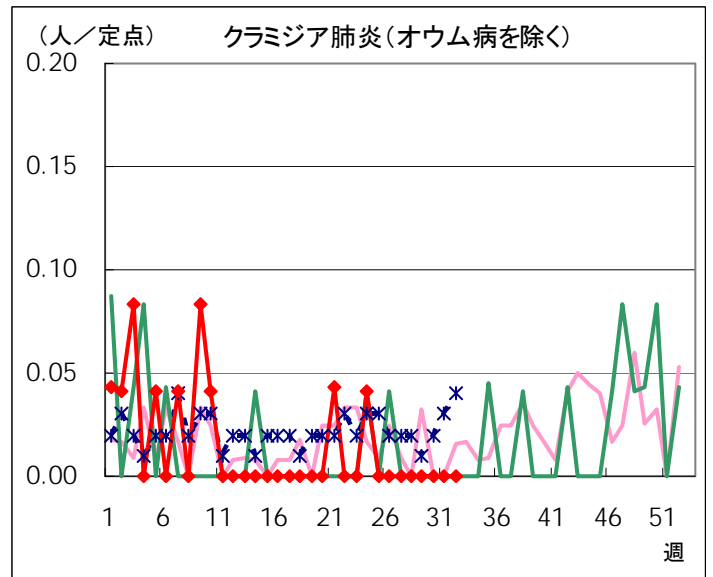
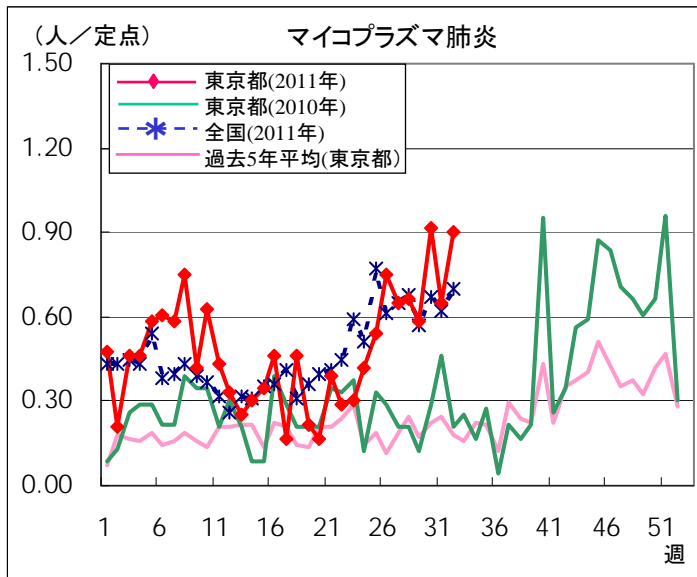


◆ 眼科定点

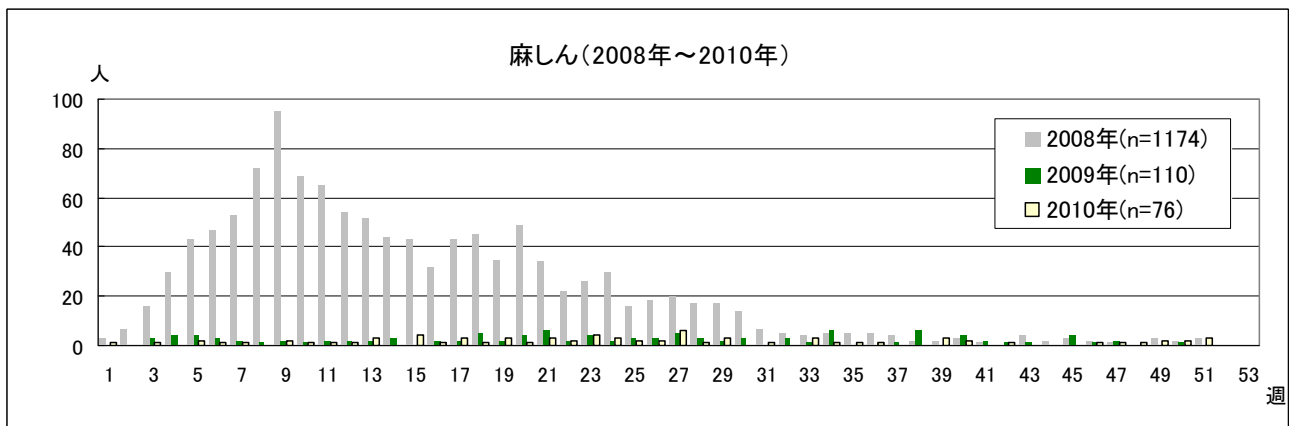
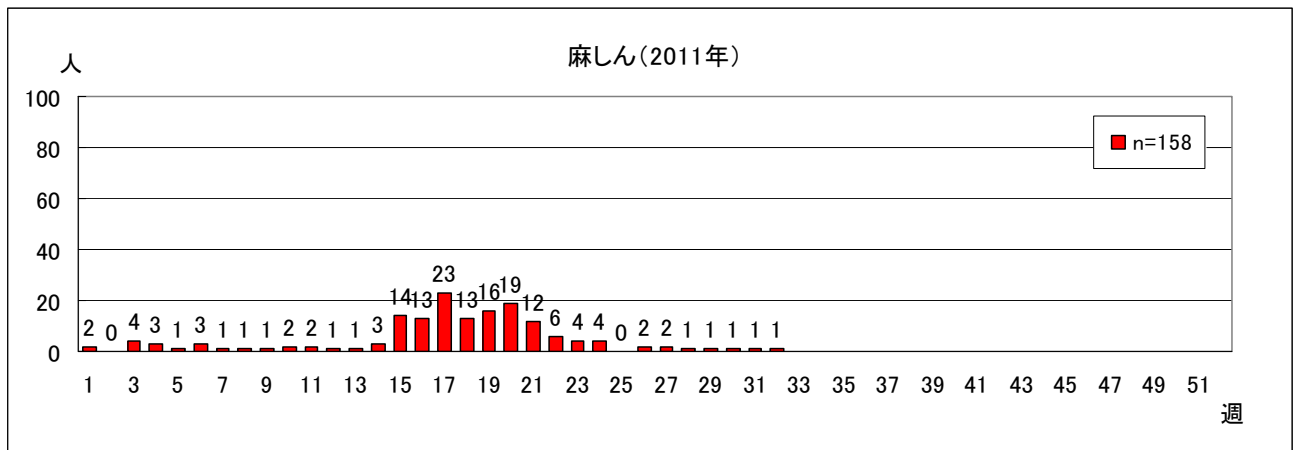


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2011年32週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
7/30	ウイルス性髄膜炎	1M	髄液	エンテロウイルス	遺伝子
8/1			咽頭拭い液		
7/25	急性脳症疑い	1M	気管吸引液	エンテロウイルス	
7/29	乳児けいれん	2M	髄液	エンテロウイルス	
8/2	不明発しん症	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
8/1	手足口病	6M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	熱性けいれん・ヘルパンギーナ	7M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	気管支炎	9M	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	
8/2	突発性発しん・ウイルス感染症	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
8/3	ヘルパンギーナ	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/30	水痘・手足口病疑い	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス 水痘帯状疱疹しんウイルス	
7/29	単純ヘルペスウイルス感染症	1	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	
8/1	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/4	手足口病	1	糞便	エンテロウイルス	
			咽頭拭い液		
8/2	手足口病疑い	1	直腸拭い液	エンテロウイルス	
8/3	不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス サイトメガロウイルス	
8/1	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/1	手足口病	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/2	ヘルパンギーナ疑い	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/2	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	高熱	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/5	右耳下腺部腫脹	3	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
記載なし	髄膜炎	5	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	
8/2	手足口病	5	咽頭拭い液	ライノウイルス	
8/2	伝染性紅斑疑い	6	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/5	不明発しん症	6	咽頭拭い液	EBウイルス	遺伝子
8/4	ヘルパンギーナ疑い	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/29	感染性胃腸炎	7	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
8/4	急性咽頭炎・手足口病	7	記載なし	エンテロウイルス	遺伝子
8/2	髄膜炎疑い	8	髄液	エンテロウイルス	
8/1	高熱	9	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/2	発熱	17	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群 6型	
8/2	発熱	19	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群 6型	
8/3	ウイルス性髄膜炎	28	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
記載なし			糞便		
8/3	手足口病	32	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	伝染性紅斑	35	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
8/1	不明熱	36	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
7/13	無菌性髄膜炎	37	髄液	エンテロウイルス	
7/28	胃腸炎	記載なし	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/1	突発性発しん	記載なし	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2011年							
		24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週
ウイルス	アデノウイルス	9	13	9	3	3	5	4	
	ライノウイルス	3	2	5			1	5	2
	ポリオウイルス	1							
	コクサッキーウイルスA群				1	1			2
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス					1			
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2	1	6	24	17	16	21	28
	単純ヘルペスウイルス		2				1		2
	水痘・帯状疱疹ウイルス			2					1
	ヘルペスウイルス6/7	3	6	6	11	6	6	4	2
	EBウイルス	1	2	2	4	3			1
	サイトメガロウイルス			2	3				2
	ムンプスウイルス		2	1	2	2	1		
	麻疹ウイルス					1			
	風しんウイルス								
	パルボウイルスB19	2	3	12	4	3	2	3	2
	RSウイルス		1			2		1	
	ノロウイルス	1	1	2					
	ロタウイルス		1						
インフルエンザウイルスAH1									
インフルエンザウイルスAH3				2					
インフルエンザウイルスB									
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス	12	6	2	7		2	1	1	
細菌	カンピロバクター				1	1	1		1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌			17	4				
	百日咳			14	5				
	マイコプラズマ			2					
	その他の細菌			4	7				
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2011年24週～2011年31週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数		13	79	56	23	3	24	19	6	17	45	12	69	8	7			206	
ウイルス	アデノウイルス		11	4	2		13		2	2	3	2	2	1				4	
	ライノウイルス	1	5	2			1			2	1		2					4	
	ポリオウイルス		1																
	コクサッキーウイルスA群		2															2	
	コクサッキーウイルスB群																		
	エコーウイルス		1																
	エンテロウイルス71																		
	その他のエンテロウイルス		10	4	3		3	2		11	36	2	7		1			36	
	単純ヘルペスウイルス																		5
	水痘・帯状疱疹しんウイルス														3				
	ヘルペスウイルス6/7		1		1						13		13						16
	EBウイルス			1								1	2	5					4
	サイトメガロウイルス		1										2						4
	ムンプスウイルス								1					5					2
	麻疹しんウイルス		1																
	風しんウイルス																		
	パルボウイルスB19						1				2	11	15						2
	RSウイルス			4															
	ノロウイルス				4														
	ロタウイルス				1														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	2																		
インフルエンザウイルスB																			
インフルエンザウイルスAH1pdm09																			
デングウイルス(抗体を含む)													3						
その他のウイルス		6	17	1		2												2	
細菌	カンピロバクター				4														
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌		7					13					1						
	百日咳		18	1															
	マイコプラズマ			2															
	その他の細菌		6	2				1					2						
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

日本脳炎ワクチン

従来の日本脳炎ワクチンは、マウス脳内で増殖させた日本脳炎ウイルスを精製しホルマリン等で不活化して製造されていたが、このワクチンによる重症の急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の発生があったことから、平成17年5月30日に日本脳炎ワクチン定期接種の積極的勧奨を差し控え、希望者のみに接種することとしていた。

その後、日本脳炎ウイルスをVero細胞で増殖させ、ホルマリンで不活化して製造された乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン（ジェービックV®）が平成21年2月23日に薬事承認され、同6月2日から定期接種のワクチンとして1期に対する接種が始まった。平成22年度からは1期初回、平成23年度からは1期初回・追加の標準的な接種期間に該当する者に対する積極的勧奨も再開された。また、平成22年8月27日からは2期に対する使用も可能となり、平成23年度は、9歳・10歳になる者に対して、1期の不足分について積極的勧奨が実施されている。平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより接種を受ける機会を逸した平成7年6月1日から平成19年4月1日生まれの者は、特例対象者として20歳未満まで日本脳炎の定期接種1期3回、2期1回、計4回の不足分を受けられることとなった。なお平成23年1月17日には、新たに一般財団法人化学及血清療法研究所の乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン（エンセバック®皮下注用）が薬事承認され、現在は定期接種のワクチンとして使用されている。

乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンによる副反応報告は、平成23年1月31日までに182件が報告されている。今後、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの接種が広く行われることから、副反応に対する適切な安全対策を講じるためにも、定期予防接種者数報告、予防接種後副反応報告は速やかに行われるべきである。

（文責 東京都福祉保健局 渡部ゆう）